



医療法人 南嶺会 勝連病院

勝連で〜びる



コロナに  
負けない



広報誌  
No.56  
2021年  
秋号

令和3年9月24日発行

# コロナ禍での 過ごし方について

皆さんは、日々どのような過ごし方でしょうか。私の最近の悩みは、コロナ禍における家族との過ごし方です。以前に沖縄県立病院で勤務していた頃は、仕事終わりの飲食が娯楽の全てでした。しかしながら、現在のコロナ禍においてそのような過ごし方はできなくなっています。出歩かなくなつたため家族との時間が増えた事は歓迎すべき事ですが、恥ずかしながら何をすれば良いかまったく思いつきませんでした。大人数での接触を避け換気が十分されている事を条件に検討した結果、漁港での釣りが候補に上がりました。幸い当院には複数の専門家が在籍しているため、2020年7月某日にコンサルトを行いました。余談です

が釣り場をgoogle検索すると、検索4位以内に必ず某精神科病院の職員採用サイトがヒットし、詳細な釣り情報を取り扱われている事に驚きを隠せませんでした。沖縄県の釣りへの情熱に触れた瞬間でした。コンサルトの結果、まずは釣り場について南部地域の複数ある有名な場所を訪れる事にしました。有望な釣りポイントの選定において、いつでも釣り人の姿がある事が必須条件であると考えました。

場所が決まり、自分の小学生時代を思い出しながら釣具店で道具をそろえ、2020年7月某日に出陣する事となりました。いざ現場に到着すると、複数人の釣り人がすでに散見されました。現地人への聞き込みと調査の結果、「サビキ」が最も有効かつ安定して大家族で楽しめるという結論に至りました。なんと琉球における長い歴史と先人たちの研究により、釣れる場所の選定は広く知れ渡っており効率的な良い仕掛けも判明している事が分かりました。驚いた事に、沖縄における「サビキ」と内地で使用されている物には大きな差異があり、そもそも籠を使用しないという県外では不可能な仕掛けが一般的に流通している事が分かりました。



After



Before

医師 飛梅 亮



試行錯誤を繰り返したどりついた答えが、個で戦うのではなく、チームでの連携に注力し戦う事です。すなわち、多人数での飽和攻撃であります。6人家族という利点を活かして、合計6本の釣竿を岸壁から垂らす事で撒き餌のような効果とともに、竿を垂らすポイントを幅広く網羅する事ができ必ず釣れる必勝のパターンであります。

現在、糸満漁港において激しい釣果争いが行われており、長男が一步リードしていただきます。そろそろ投げ釣り、ちょい投げという新たな技と刺激を手に入れる必要があるかもしれないですね。今後の釣果を見ながら慎重に検討していく予定です。

## 入職者紹介

①出身地 ②趣味 ③一言



たか やしき かず や  
**高屋敷 一也** (薬剤師)

①岩手県 ②海で遊ぶこと ③メジャーリーグで活躍している大谷翔平選手と同じ岩手県から来ました。珍しい名字だよねとよく言われますが岩手でも、特に生まれ育った盛岡市やその周辺では希少な名字でした。なので同じ名字の人に偶然会ったことは一度もありません。それから、発音しづらいいとも言われますが、まったくその通りだと思います笑。早く慣れていただけたら幸いです。大谷選手のような二刀流の動きは難しいと思いますが宜しくお願い致します。



まえしま  
**前島 みゆき** (看護師)

①鹿児島県奄美大島 ②旅行、車中泊 ③病棟勤務は久しぶりで毎日不安と期待でいっぱいな日々を送っています。患者さんとのコミュニケーションの中で認知症の症状をもちつつ長い人生で築きあげた「お人柄」に触れることができた時は、ほっこり気持ちも和みます。先輩方も親切にご指導頂き、安心して業務を覚えられる環境だと感じています。このご縁が実りある宝物になるよう認知症看護・精神看護を深く学び患者さんに還元できるよう邁進していきます。



おい かわ み お  
**及川 未緒** (看護師)

①埼玉県 ②ランニング ③去年まで認知症病棟にいたのでご存知の方もいると思うのですが、またお世話になります。



みや ぎ まなぶ  
**宮城 学** (看護師)

①南城市佐敷 ②下手くそなDIY ③8月16日より3病棟に勤務する事になりました宮城といいます。前職は一般病院に20年以上務めており、かなりのせっかち(食事は丸のみ、歩く速度は競歩なみ)になってしまいました。今回、病棟内の落ち着いた雰囲気と、スタッフの穏やかな対応に毎日癒されています。精神科は、かなり久しぶりですが早く慣れるように頑張りますので、よろしくお願いします。



しん がき かん  
**新垣 寛** (准看護師)

①糸満市宇照屋 ②野球 ③以前介護職を携わらせて頂き内地へ就職後、再度こちらで准看護師として働かして頂く事はうれしい限りです。みなさんと一緒に働きながら上手くコミュニケーションを取りながら仕事をさせて頂きたいと思います。

# 認知症初期集中支援チームについて

松原卓也理事長が  
糸満市及び豊見城市の認知症初期集中支援チーム専門医です

認知症初期集中支援チームとは、厚生労働省が11府省庁と2025年問題を見据えて策定した「認知症施策推進総合戦略」の具体的な施策です。その目的は、認知症本人及びその家族と関わって、早期診断・早期対応を行い、認知症発症後も本人の意思が尊重され住み慣れた地域で暮らし続けられる為です。松原理事長が、毎月、糸満市及び豊見城市の各市役所にて会議を実施しております。地域包括支援センターの看護師、保健師、作業療法士、社会福祉士、また認知症地域支援推進員に指導や助言をし、認知症と思われる人や既に発症している人及びその家族へのアセスメント等、初期の支援を集中的（約6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを進めております。



糸満市認知症初期集中支援チーム会議の様子



## 糸満市認知症初期集中支援チームのメンバー

専門医：松原卓也 理事長 (写真中央)

糸満市地域包括支援センター

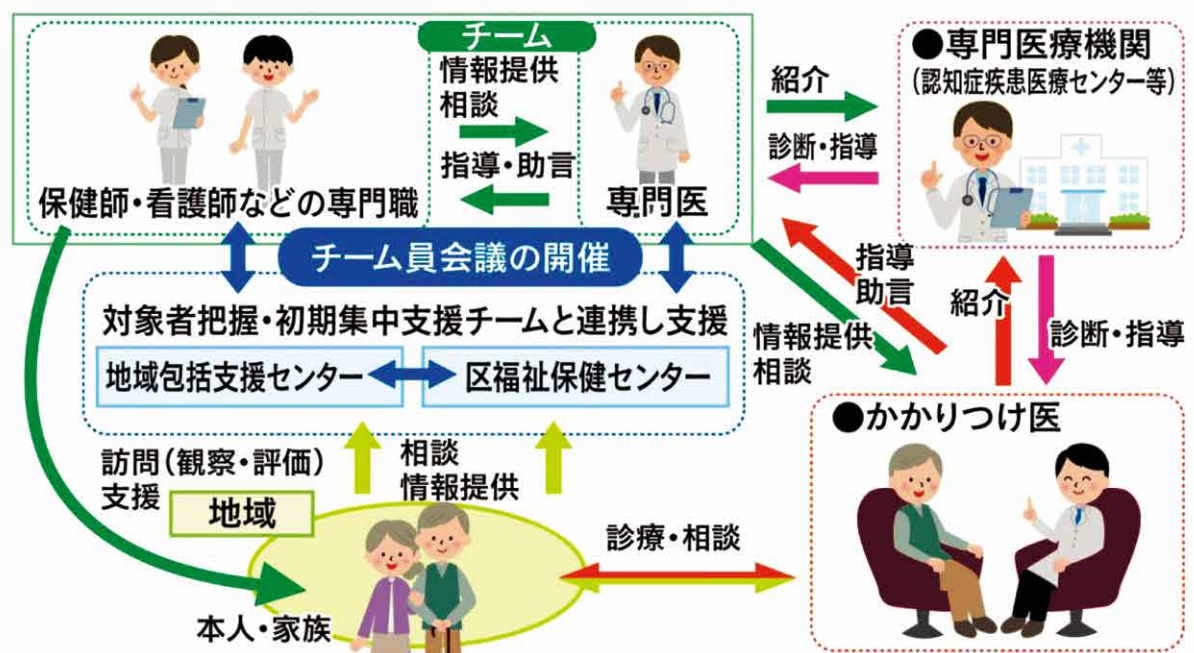
富樫さん [写真左 (保健師)]

松川さん [写真左から二番目 (社会福祉士)]

狩俣さん [写真右 (作業療法士)]

杉村さん [写真右から二番目 (保健師)]

## 認知症初期集中支援チームの概念図



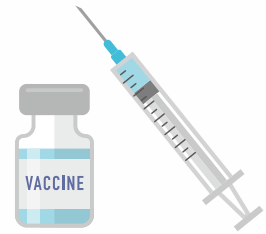
当院の

# 新型コロナウイルスワクチン接種業務 について

当院が、既の実施している新型コロナウイルスワクチン接種業務（糸満市の業務である地域の高齢者約4,000名）に加え更に対象を拡げて（①60歳～64歳の地域住民 ②基礎疾患を患った方々 ③保育士、教師等のエッセンシャルワーカー）集団ワクチン接種及び一般の糸満市民への個別ワクチン接種も開始しております。

また沖縄県の広域コロナウイルスワクチン接種センター（県立武道館）に当院の医師が出向き、1日約600名の高齢者にワクチン接種を実施しております。（沖縄県保健医療部ワクチン接種等戦略課、沖縄県医師会、県内の医師、看護師、保健師、薬剤師の皆様と協業）

今後も新型コロナウイルス感染収束を目指して尽力して参ります。



## 広域コロナウイルスワクチン接種センター（県立武道館）への出務



※写真撮影及び当広報誌への掲載は沖縄県保健医療部ワクチン接種等戦略課より承諾を得ております。

## 糸満市農村環境改善センターでのワクチン接種



## 当院での個別ワクチン接種



# 熱戦! オリンピック観戦!!

『東京オリンピックを盛り上げたい!!』僕の一存（勝手に笑）で決まったOT室の様態替え。患者さんとも協力して、色々な国旗を色塗りしてもらい、天井に吊るすことにしました。ですが、僕はあまりこういう作業が得意ではありません。そのとき、心優しい先輩方が、そっと手を差し伸べてくれて、颯爽と仕事をこなしていく姿は、まるでアスリートのようにカッコ良かったです！完成したOT室をみて患者さんも「上等なっているね〜」「私が塗ったのもあるね〜」などいろいろな感想がきけて、嬉しかったです。

さっそく、模様替えしたOT室で、スクリーンを使って皆で応援もしました。ソーシャルディスタンスと換気はしっかり行って、感染対策は万全！乾杯はもちろんコーラで（笑）！

選手たちの熱い気迫に心も体も興奮して、自然と声も出て応援にも熱が入りました。みんなで応援することで、少しでも楽しんでもらえてよかったです。



ソーシャルディスタンス  
をとって観戦！



国旗を持つ手にも  
力が入ります！



五輪は  
輪っかで作成！



国旗は患者さんの塗り絵です

最後はコーラで  
カンパ〜イ♪





勝連病院でも毎年、この時期に獲れる旬の野菜をたっぷり使った十五夜メニューを提供させていただいています



秋の行事食

十五夜



旧暦8月15日の夜は八月十五夜（ハチグワチジュー  
グヤ）。

豊作を感謝し、祈願する日として豊年祭の村遊び（ムラアシビ）が各地で盛大に行われてきました。「糸満大綱引き」も十五夜の伝統的な行事の一つとして有名ですよ。

また、十五夜のお供え物としてかかせないのが「ふちやぎ」です。

**ふちやぎ**とは

漢字にすると吹上餅と書く、皆さんご存じの独特な見た目をしたお菓子（お餅）です。

もち粉に水を加えてこね、楕円形に形を作り蒸し、熱いうちにゆでた小豆を全体にまぶして作ります。

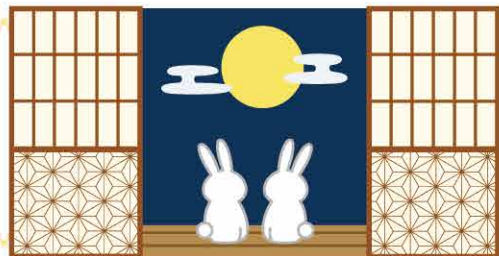
小豆にはもともと魔除けの意味があることから、小豆をつぶさないでそのままの状態でくっつけることで厄除けや魔除けなどになるとも言われています。



昔ながらのふちやぎは、ほんのり塩味のあっさりとした味わいでしたが最近では砂糖をまぶした甘い味のふちやぎも多くなってきているようです。

「中秋の名月」ともいわれ、最も美しい満月が見られるこの時期。

美味しいものを食べてゆっくりとしたお月見の時間を楽しみたいですね。



## 感染症対策の基本は手洗いです

食中毒はもちろん、感染症予防のためにはこまめな手洗いが大切です。手についたウイルスや菌をしっかりと取り除きましょう。



# 勝連病院案内マップ



場所(バス停付近)	1便	2便	3便
①勝連病院発	08:30	11:00	14:10
②摩文仁	08:36	11:06	14:16
③糸満清明病院前	08:38	11:08	14:18
④大度	08:39	11:09	14:19
⑤米須	08:40	11:10	14:20
⑥伊原	08:42	11:12	14:22
⑦山城入口	08:43	11:13	14:23
⑧波平入口	08:44	11:14	14:24
⑨喜屋武	08:48	11:18	14:28
⑩名城	08:52	11:22	14:32
⑪南部病院前	08:53	11:23	14:34
⑫双子橋	08:58	11:28	14:38
⑬糸満オータリー	09:00	11:30	14:40
⑭照屋	09:02	11:32	14:42
⑮高嶺入口	09:04	11:34	14:44
⑯賀数	09:08	11:38	14:48
⑰当銘	09:10	11:40	14:50
⑱志多伯	09:11	11:41	14:51
⑲東風平	09:17	11:47	15:10
⑳高良	09:21	11:51	15:15
㉑勝連病院着	09:27	11:57	15:20



※平日のみの運行です。  
(土・日・祝祭日は運行ありません)

## 交通機関

当院より無料送迎車が運行されております。無料送迎車運行ルート上で途中乗車される方は道幅が広く安全な場所で手をあげてお知らせください。ルート上の主要地点を通過するおおよその時間は右上の通りです。

### 診療科目

◎精神科 ◎心療内科 ◎内科  
◎リハビリテーション科  
※「認知症・物忘れ外来」も行っています。

### 診療時間

[外 来] 月曜日～金曜日  
午前9時30分～午後5時  
[休診日] 土曜日・日曜日・祝祭日

### 相談窓口

医療福祉相談室  
月～金曜日 午前9時30分～午後4時30分

## 南嶺子プレゼント ～今月の黄金言葉～

『若いうちの難儀は、買ってでもせよ。』  
人は多くの困難を乗り越えてはじめて一人前になれるもの。だから心身の柔軟な若いうちに、積極的に苦勞を体験しなさい。その体験は自分の成長へとつながり、将来、財産となって生きてくるといふ教え。

わか 難儀えー、  
ナン シ  
買っていんっし



**編集後記**  
東京五輪！家や職場でテレビ観戦を楽しみました！五輪に影響されて「私も何かやるう！」と思い立ち、早朝ウォーキングを始めました！朝5時半の屋外は、他者と密になることもなく、また涼しい風に吹かれ熱中症の心配もなく、サイコーです！遊びに行かず、自粛する日々が続いていますが、私たちも一人一人できる感染対策をしつかりと行って、自粛生活を健康的に楽しみたいと思います！  
名城

### 募集の投書方法

ご意見、ご感想、相談員への質問などお待ちしております。  
(1) 広報誌に関するご意見、ご感想  
いつも「勝連で～びる」をご愛読頂き、ありがとうございます。  
下記の方法にて気軽に投書してください。

- 投書方法**
- ① 当院のご意見箱に投書
  - ② 当院のメールアドレスに送信 (アドレスは下記を参照)
  - ③ 当院の広報委員会あて郵送

よろしく  
お願い致します



医療法人 南嶺会 **勝連病院**

〒901-0331 沖縄県糸満市字真栄平1026番地 TEL. 098-997-3104 FAX. 098-997-2457  
URL <http://www.katsuren-hp.or.jp> E-mail [info@katsuren-hp.or.jp](mailto:info@katsuren-hp.or.jp)

次号発行予定：2022年1月28日